

演奏会 & レクチャー

「音楽が言葉を超える時」

～ベートーヴェン生誕250周年に寄せて～

L.v.Beethoven (1770～1827)



PROFILE



1990年全日本学生音楽コンクール第1位。2000年クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位を受賞した際、Dr. ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。その後10以上の国際コンクールで受賞。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロンビアを公演で回る。キング・インターナショナルから《ふたりのドメニコ》《ピアソラの天使》《そして鐘は鳴る》《インヴェンションへのオマージュ》《ブルクミュラー25&18の練習曲》をリリースして各誌で絶賛される。著書《赤松林太郎虹のように》を道和本屋より発刊。1,000名以上の指導に携わり、多くの受賞者を輩出している（PTNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝、多数の国際コンクール他）。各地で開催される講座でも好評をおさめ、エッセイストとしては新聞や雑誌にも連載を持っている。第1回よりダヌビア・タレント国際音楽コンクール（ハンガリー）の審査員長を務め、ヨーロッパ各地の国際コンクールやマスタークラスに多数招聘されている。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジュルジ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチェツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。現在は(一社)全日本ピアノ指導者協会評議員、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、カシオ計算機株式会社アンバサダー。
<http://rintaro-akamatsu.com/>



PROGRAM

ピアノソナタ第8番 八短調「悲愴」作品13
Sonate für Klavier Nr.8 c-moll "Pathétique" Op.13

1. Grave - Allegro di molto e con brio
2. Adagio Cantabile
3. Rondo Allegro

ピアノソナタ第13番 変ホ長調「幻想風」作品27-1
Sonate für Klavier Nr.13 Es dur "Sonata quasi una Fantasia" Op.27-1

1. Andante - Allegro - Tempo I
2. Allegro molto e vivace
3. Adagio con espressione
4. Allegro vivace

～ 休 憩 ～

ピアノソナタ第14番 嬰八短調「月光」作品27-2
Sonate für Klavier Nr.14 cis-moll "Sonata quasi una Fantasia" Op.27-2

1. Adagio sostenuto
2. Allegretto
3. Presto agitato

ピアノソナタ第23番 へ短調「熱情」作品57
Sonate für Klavier Nr.23 cis-moll "Appassionata" Op.57

1. Allegro assai
2. Andante con moto
3. Allegro ma non troppo - Presto